

令和元年度事務事業評価シート(平成30年度実績)

◎基本情報

事務事業名	放課後児童健全育成事業		担当部署	健康福祉部 子どもいきいき課		
総合計画体系			根拠法令 計画など	子ども・子育て支援法 鳴門市放課後児童健全育成事業の設備 及び運営に関する基準を定める条例		
基本政策(大項目)	2	ずっと笑顔で生きがいを感じるまちづくり	事業 期間	開始	平成	14年度
政策(中項目)	2	子どもたちの笑顔と歓声が聞こえるまち なると			終期	未定
(小項目)		児童福祉				
施策	2	児童福祉の推進				
基本事業	1	子どもの健やかな成長支援				

◎事業概要(PLAN)

事業対象	誰(何)を対象にしているか	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理 市内に居住する小学校児童で昼間保護者のいない家庭の児童														
事業目標	対象をどのような状態にしたい(目指す)のか	保護者の仕事が終わるまでの安全の確保及び遊びや学習活動を通して自主性、社会性、創造性を身につける。														
事業計画	30年度に何を計画していたか	平成27年に施行した当該事業にかかる条例を遵守し、各児童クラブの運営委員会と連携を取りながら、放課後児童の健全育成を支援していく。 高学年の受入ができていない児童クラブについて、受入れ数の拡充に向けた協議を進める。 子育て家庭の経済的負担の軽減のため、児童クラブ利用料の軽減事業を実施する。														
成果目標	事業目標の達成度合	<table border="1"> <thead> <tr> <th>指標名</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>児童クラブ年間平均登録児童数</td> <td>600</td> <td>630</td> <td>630</td> <td>650</td> <td>650</td> <td>人</td> </tr> </tbody> </table>	指標名	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	単位	児童クラブ年間平均登録児童数	600	630	630	650	650	人
指標名	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	単位										
児童クラブ年間平均登録児童数	600	630	630	650	650	人										

◎実施結果(DO)

事業実施内容	30年度は目標を達成するため、手段としてどのような活動を行っているのか	地域の児童クラブ運営委員会に事業を委託し、放課後児童の安全と健全な育成を図った。 桑島児童クラブ及び林崎児童クラブは29年度に事業実施施設を新た建設し、クラスを増設したことで高学年児童の受入れが安定して実施できるようになった。 高学年児童の受入れができていない木津、撫養児童クラブの受け入れ児童数の拡充に向け、教育委員会、学校と協議を行った。						
事業実施手法	<input type="checkbox"/> 市実施 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他							
指標名		29年度実績	30年度実績	元年度目標	2年度目標	3年度目標	単位	
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	鳴門市児童クラブ(支援の単位)数	16	17	18	19	19	クラス
	2	平均年間開所日数	290	290	290	290	290	日
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	児童クラブ年間平均登録児童数		630	634	—	—	—	人
	目標達成率(実績/目標)			100.6	—	—	—	%
今年度の進捗状況	計画どおり	事業全体の進捗状況		計画どおり				

(千円)

財源内訳	平成30年度	年度	区分	国	県	地方債	その他特定財源	一般財源	事業費計
		当初予算額		37,756	42,028	0	0	42,853	122,637
		補正予算額		0	0	0	0	0	0
		繰越予算額		0	0	0	0	0	0
		全体予算額		37,756	42,028	0	0	42,853	122,637
		決算額		39,822	36,980	0	0	39,047	115,849
		繰越額		0	0	0	0	0	0
	人件費		正規職員(7,321千円/人)	臨時職員(2,125千円/人)	総人件費		総事業費		
			0.2	0.2	1,889		117,738		

事業費推移	年度	29年度決算	30年度決算	元年度	2年度	3年度
	事業費	259,696	115,849	146,203	134,203	134,203
	うち一般財源	50,180	39,047	86,481	45,871	45,871
	人件費	2,669	1,889	1,889	1,889	1,889
	総事業費	262,365	117,738	148,092	136,092	136,092

◎項目別評価(CHECK)

評価項目		評価値	所見欄
①活動に対する評価	有効性	A:有効性があった	昼間保護者のいない放課後児童の健全育成を図るために欠かせない事業である。
	効率性	A:効率的だった	児童クラブ運営委員会及び各クラブ支援員との連絡を密に行い、事業を円滑、効率的に実施した。
②成果に対する評価	指標名	児童クラブ年間平均登録児童数	29年度に桑島・林崎児童クラブのクラス増設のための施設整備を行い、30年度から受入れ可能数が増加したことで、高学年児童の利用が安定して実施できるようになった。今後も事業を必要とする子育て家庭の支援のため取組を進める。
	目標	630 人	
	実績	634 人	
	評価	A:目標を達成できた	
③総合的な評価		A	核家族化の進行や保護者の就労形態の多様化などにより、少子化にあっても利用者数は増加傾向にある。事業の継続は、児童の放課後における居場所づくりの観点からも必要な事業である。

◎今後の方向性(ACTION)

課題	全体の利用児童が増加しているクラブや高学年児童の受け入れを制限しているクラブについて、受け入れ数の確保に取り組む必要がある。 今後の利用児童数の見込みをもとに、受け入れ児童の拡充に向け、事業実施場所の確保に向け、小学校や教育委員会と綿密な協議を行う必要がある。				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	4
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	R1年度	高学年児童の受け入れができていない木津、撫養児童クラブの受け入れ数拡充に向け、事業実施場所の確保を図る。			
	R2年度	全学年児童の受入可能体制を整えるために、小学校・教育委員会・運営委員会との協議を進める。			